

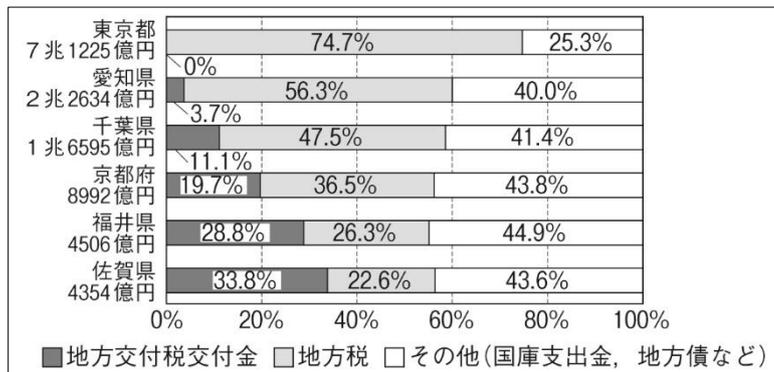
基本問題

- ① 地方公共団体が収入を得て、それを支出する経済活動のことを何というか。
- ② 国と地方公共団体が1年間に使うお金（支出）を何というか。
- ③ 国と地方公共団体が1年間に得るお金（収入）を何というか。
- ④ 地方公共団体が自由に使える独自の財源で、住民が納める税金のことを何というか。
- ⑤ 地方公共団体間の財政格差をおさえるために国から配分されるお金を何というか。
- ⑥ 国から委託された特別な活動（義務教育や道路整備など）を行うために、国が支給するお金を何というか。
- ⑦ 地方公共団体が借金をするために発行する債券を何というか。
- ⑧ 国が持っている地方に関する決定権や、仕事をするために必要な財源を、地方公共団体に移して住民に身近な行政サービスをその地域で決められるようにすることを何というか。

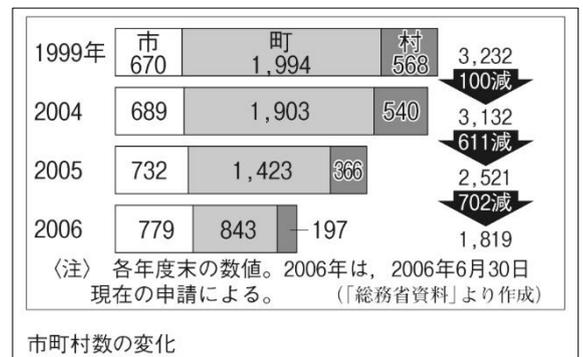
①	地方財政	②	歳出	③	歳入	④	地方税
⑤	地方交付税交付金	⑥	国庫支出金	⑦	地方債	⑧	地方分権

発展問題

資料1 歳入に占める地方交付税と地方税の割合



資料2 市町村数の変化



- ① 資料1からわかる、福井県や佐賀県における歳入に占める地方交付税と地方税の割合の特徴を書きなさい。
- ② 国から東京都への地方交付税交付金の配分がない理由を書きなさい。
- ③ 地方交付税交付金が国から配分される目的を書きなさい。
- ④ 資料2のように、市町村数が減っていったのはなぜか、書きなさい。

①	(例) 地方税の割合が少なく、地方交付税交付金の割合が多いこと。
②	(例) 大企業の本社が多い東京では、地方税による収入が多いから。
③	(例) 地方公共団体間の財政格差をおさえるため
④	(例) 市町村合併が進んだから。